

THE ドラえもん展 TOKYO 2017

報道関係各位

THE ドラえもん展 TOKYO 2017 実行委員会
2017 年 9 月 20 日

「THE ドラえもん展 TOKYO 2017」 参加アーティスト制作リポート第 2 弾 中里勇太さん、中塚翠涛さん、れなれなさんが登場！

2017 年 11 月 1 日（水）から 2018 年 1 月 8 日（月・祝）まで、六本木ヒルズ・森アートセンターギャラリーにて開催される「THE ドラえもん展 TOKYO 2017」。本展では、日本の現代美術を牽引するアーティスト 28 組が参加し、ドラえもん和現代アートとの競演が実現します。2002 年に開催された「THE ドラえもん展」は、当時を代表するアーティストが一堂に集い、独創的な作品が生み出され、鮮烈なインパクトを与えました。15 年経った今、社会環境、風景、生活、身近にあるモノは大きく様変わりし、現代アートの“いま”も進化しています。本展は、ドラえもんを通じて現代アートの“いま”を切り取る展覧会と言えるでしょう。

そのような注目の展覧会開催に先立ち、展覧会をより楽しんでいただけるよう、「THE ドラえもん展 TOKYO 2017 ヘッドライン」と題して最新情報をお届けしております。本展に向け、現在、参加アーティストは「あなたのドラえもんをつくってください」をテーマに鋭意作品を制作中。Vol.2 となる今回は、参加アーティスト 28 組のうち、「映画ドラえもん」を題材に作品を制作する中里勇太さん、中塚翠涛さん、れなれなさんの 3 名の作品制作を現場からリポートします！

<中里勇太さん／彫刻家>



中里さんは、『映画ドラえもん のび太の日本誕生』（1989 年公開）でのび太が作りだした 3 匹の架空動物の 1 つである「ペガ」（ペガサス）を選び、彫刻作品として制作しています。

『のび太の日本誕生』で、のび太がペット大臣となり架空動物を生み出す姿に“クリエイティビティ”を感じたといい、3 匹の架空動物の誕生に喜ぶのび太に、「のび太の喜びがキラキラしていて、『ああ、ドラえもんってこんな世界だね』という雰囲気がよく現れていた」と感じ、今回のモチーフを選んだそうです。

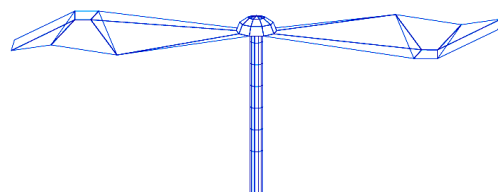
動物を主題として、今にも動き出しそうなほど毛並みまで丁寧に彫り込んだ木彫作品で知られる中里さんにとって、架空の動物を主題にする試みは初めてとのこと。「身体と羽のバランスを、想像と現実のギリギリのところを攻めながら制作した」という作品は、まるで映画の中から飛び出したような不思議な感覚を楽しむことができそうです。

【報道に関するお問い合わせ】

「THE ドラえもん展 TOKYO 2017」広報事務局（共同 PR 内）担当：秋吉、津原、上段、三井

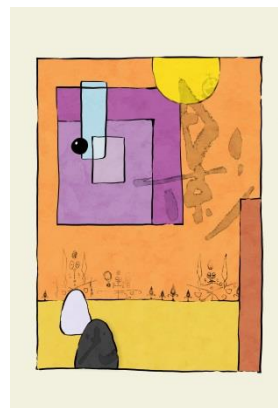
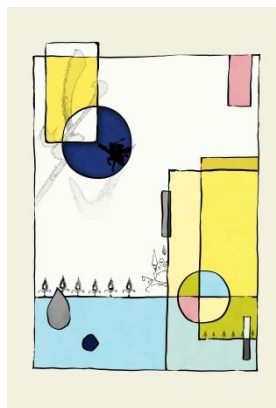
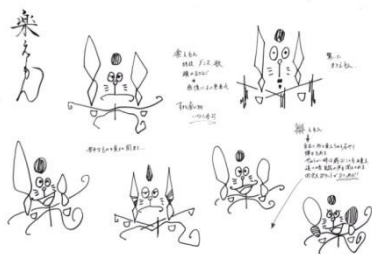
TEL: 03-3571-5258 FAX: 03-3574-0316 E-mail: thedoraemonten-pr@kyodo-pr.co.jp

一般の方からの問い合わせ電話番号は ハローダイヤル 03-5777-8600（8:00～22:00）



THE ドラえもん展 TOKYO 2017

<中塚翠涛さん／書家>



書家中塚さんは、『映画ドラえもん のび太の日本誕生』（1989年公開）の世界を屏風に描こうと考えています。屏風の「右から左に時間が流れていく」という特性を使い、作品の中でキャラクターが現代の日本と旧石器時代を行き来する映画のストーリーを表現します。

中でもテーマを象徴するものとしてペガ、グリ、ドラコを取り上げ、過去から見たり、未来から見たり、全体を見たり、いろいろな見方ができる作品となりそうです。

今回、併せて制作しているという「楽えもん」は、ドラえもん「楽」の字が合わさった、オリジナルのドラえもん。屏風の中にも描かれるという、「楽えもん」にも注目です。

<れなれなさん／画家>



今回の参加アーティスト最年少で、黒板とチョークを使って作品を制作するれなれなさんは、『映画ドラえもん のび太の新魔界大冒険』（2007年公開）の世界を描いています。幅2.7mの巨大黒板に丸4日作業部屋にこもって作品を制作しました。

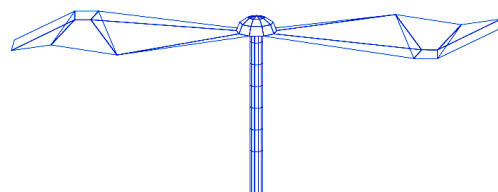
『のび太の新魔界大冒険』で特徴的な背景の美しさを描きたかったといい、「“背景”が映画として美しい要素になっている、ということを私の作品を通して伝えたい」とコメントしています。奥行きを感じさせる繊細な描画は必見です。

【報道に関するお問い合わせ】

「THE ドラえもん展 TOKYO 2017」広報事務局（共同 PR 内） 担当：秋吉、津原、上段、三井

TEL: 03-3571-5258 FAX: 03-3574-0316 E-mail: thedoraemonten-pr@kyodo-pr.co.jp

一般の方からの問い合わせ電話番号は ハローダイヤル 03-5777-8600（8:00～22:00）



THE ドラえもん展 TOKYO 2017

■THE ドラえもん展 TOKYO 2017 開催概要



タイトル：THE ドラえもん展 TOKYO 2017（ザ ドラエモンテン トウキョウ ニイマルイチナナ）

開催期間：2017年11月1日（水）～2018年1月8日（月・祝）会期中無休

開館時間：10:00～20:00（火曜日は17:00まで）※入館は閉館の30分前まで

会場：森アートセンターギャラリー（東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー52階）

公式サイト：<http://thedoraemontentokyo2017.jp>

公式 Twitter：[@thedoraemonten](https://twitter.com/thedoraemonten)

お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600（8:00～22:00）

主催：テレビ朝日、朝日新聞社、ADK、小学館、シンエイ動画、小学館集英社プロダクション、
乃村工藝社、森アートセンター

特別協力：藤子プロ・創立30周年記念事業

協賛：KDDI、ショウワノート、大日本印刷、Tチケット

【報道に関するお問い合わせ】

「THE ドラえもん展 TOKYO 2017」広報事務局（共同 PR 内）担当：秋吉、津原、上段、三井

TEL: 03-3571-5258 FAX: 03-3574-0316 E-mail: thedoraemonten-pr@kyodo-pr.co.jp

一般の方からの問い合わせ電話番号は ハローダイヤル 03-5777-8600（8:00～22:00）

